

第 313 回研究報告会（6 月 28 日）

「天理教事典」改定の過程

澤井治郎

この3月、『天理教事典 第三版』が刊行された。これまでに、「初版」が昭和52年（1977）、「改訂版」が平成9年（1997）に刊行されている。これについて、「どこが変わったのか」と問われることがある。「初版」のみを持っている方が多数あり、「初版」とはどう違うのかと問われることもあるので、「初版」から「第三版」までの経過を簡単にまとめたい。

「初版」には1,262の項目がある。そのうち243項目が直属教会名である。これは項目数としては約2割にあたるが、比較的長文の項目がおおく、分量としては直属教会に関する項目が「初版」本文の頁数の半分を占めている。原典の用語や教会本部の組織については、中項目主義をとられ、かなりコンパクトに解説されている。

「改訂版」では、「初版」の半分を占めていた教会の項目が『教会史編』に独立させられ、その分、用語に関する項目が細分化されると同時に大幅に増補され、2,806項目が収録されている。全頁数の約6割にあたる分量が新たに執筆されており、さらに従来の項目にもかなり書き直されたものがある。天理教の組織的な活動について増補されるとともに、原典、『教典』『稿本教祖伝』『逸話篇』を読むために便利な言葉・事項が重点的に増補されているのが一つの特徴である。

「第三版」では、「改訂版」をベースに全体が見直され、削られた項目も少なからずあるが、2,833項目が収録されている。天理教内の様々な動きが更新されたほか、人権的な問題や天理教学の展開など、現代的な観点から従来の説明を修正したものが多い。ほとんどすべての項目に、大小様々な修正が施されている。

このように、常に教祖の本来の思召を探求し、天理教の歩み全体を振り返るとともに、それを広く一般に紹介するため、「天理教事典」は検討を重ねられてきている。

天理台湾学会第 28 回研究大会が開催

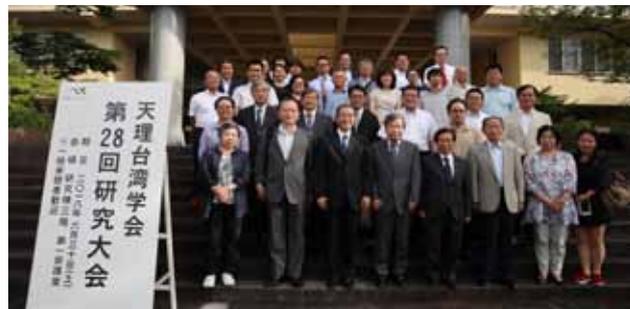
金子 昭

天理台湾学会（会長・金子昭）の標記研究大会が6月30日、天理大学を会場に開催され、台湾からを含む60名が参加した。7名の研究者による発表が行われたが、うち4名は台湾在住の研究者である。

本学からは山本和行准教授が、「1930年代以降における芝山巖の位置—学校教育とのかかわりを中心に—」という題目で発表。芝山巖とは、日本領台間もない時期に初めて近代教育が導入された台北市内の地名であるが、明治29年（1896年）この地で日本人教師らが殺害されるという事件が発生した。教育に命を賭けた彼らの犠牲精神は後に「芝山巖精神」と言われ、日本統治下の台湾の教育界に大きな影響を及ぼした。山本准教授はこの言葉が語り継がれるようになった経緯を丹念に検証し、学校教育との関連の中でどのように内実を与えられていったか、その過程について詳しく論じた。

7名の研究発表後、台湾原住民文学についての研究・翻訳に長年従事してきた天理大学非常勤講師の魚住悦子氏が、「タマラカウの視点—原住民作家パタイの創作—」という題目で記念講演を行った。「タマラカウ」とは台湾南東部にある原住民（ブユマ族）の村で、パタイ（巴代、本名は林二郎）はこの村の出身者。代表作の長編小説『タマラカウ物語』上下巻（草風館、2012年）は魚住氏による翻訳書として刊行されている。パタイはまた、タマラカウ部落に伝わる巫術についての研究者としても知られる。魚住氏は、台湾原住民文学やその翻訳の現状を概観した後、パタイの歴史創作の舞台を紹介しながら、『タマラカウ物語』の作品解説を行った。

天理台湾学会は、台湾に関する学術研究団体として、1991年に天理台湾研究会として発足。1995年に天理台湾学会と改称し今日に至っている。会員は約200名であるが、その3分の2は日本在住者、3分の1は台湾を主とした海外在住者で占める国際的な学会である。台湾の言語、文学、芸術、歴史、文化、宗教、社会など人文社会系を中心に、台湾についてのさまざまな分野の研究発表を行い、会員相互の研鑽と交流を図っている。年1回研究大会を開催すると同時に、学術年報として『天理台湾学報』を発行。狭い意味での研究者だけにとどまらず、広く台湾に関心を持つ人々のために、天理から台湾に関する学術情報を発信し、学術面から社会に貢献していくことを目指している。関心のある方には、ホームページをご覧ください。ホームページ「天理台湾学会ホームページ」<http://www.tenri-u.ac.jp/tngai/taiwan/>



おやさと研究所  
平成30年度公開教学講座

信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（4）

- 9月25日（火） 森 洋明  
62「これより東」
- 10月25日（木） 澤井治郎  
59「まつり」
- 11月25日（日） 堀内みどり  
52「琴を習いや」

場所：天理教道友社6階ホール 事前予約不要  
時間：午前10時～11時30分 来聴無料  
\*お車でのご来場はご遠慮下さい。